

諸君之此係棄指に相立居たりと云ふ事、因に棄た
 るを心算し、通るは事實未だ官金棄指、
 理由トナスニ足らざる付、何れも此の理得なき事
 可然なる果て具に何言裁き也
 此の如く果て
 何れも越え難い事

書水書通

昭和十八年一月二十九日

第 一

主 任

15

分

内閣書記官長

壽印室

管束

多由力物を得る能農の衆は物類造所
 用として實上多地利に便其業を二付一處に集
 用地上修築ノ東者此に至りテ之趣を以て所をハ
 日人より西物ノ不ヲ知ルノ内風失ホテ為ノ弊用ニ至
 之者其故今由ハ地盤中ノ排氣を爲りテ其ノ害のい餘
 上地文地ニ至シテ成リタル事也故モ宜ク多量開闢
 地盤修め其力も島中具し仰ニ其ノ事

